

令和2年度 校内研究計画

山梨市立山梨北中学校

1. 学校課題

令和元年度全国学力状況調査による本校の結果（平均正答率：％）では、「国語」は山梨県・全国ともに上回った。「数学」では山梨県・全国をやや上回った。英語では、山梨県とほぼ同じで、全国よりやややや下回った。

学習意欲を支える「規範意識」「国語への関心」また、「自己有用感」については、全国と比較して高かった。また、この調査で「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか」の値は県・全国と比較しても下回った。今後、各教科への関心や意欲を高め、思考・表現活動を通して各教科の「見方・考え方」を高めていくよう授業改善を図っていきたい。

2. 研究主題

自ら学ぶ力をつける学習指導に関する研究

～ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と「考え、議論する」道徳の授業づくり ～

3年間の研究でめざす生徒像

様々な状況や学習場面に応じ、自ら考え、判断し、適切に課題解決ができる生徒

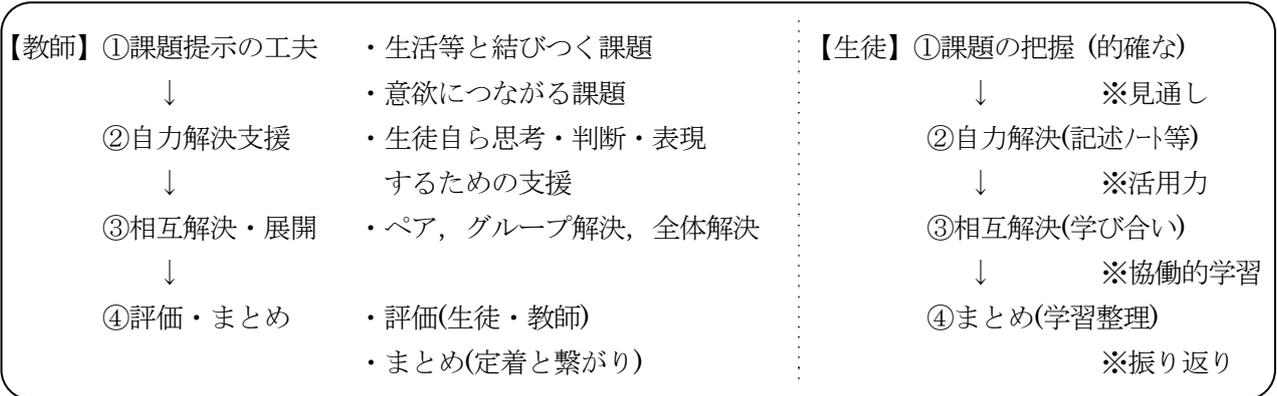
3. 主題設定の理由

今回の学習指導要領の改訂では、社会において自立的に生きるために必要な「生きる力」を育むために身につけさせる資質・能力として①生きて働く「知識・技能」の習得、②未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養の三つの柱が掲げられている。単元の題材など内容や時間のまとまりを見通しながら「何を学ぶのか（教科の目標）」に留まることなく「何ができるようになるか（資質・能力）」を明確に見据えたなかで「どのように学ぶのか（学習過程の改善、主体的・対話的で深い学び）」の授業改善、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」をはたらかせる学びの過程の重視を求めている。これまで上記の①～③の資質・能力を身につけさせるために「どのように学ぶのか」について学びの質の向上に向けた研究・取組を行ってきた。研究主題「自ら学ぶ力をつける学習指導に関する研究」～ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と「考え、議論する」道徳の授業づくり～として継続研究に取り組んだ。そのなかで研究の3つの柱1「思考・判断・表現力を高める取組（山北スタイル）」、2「基礎学力定着の取組」、3「教材教具の開発・工夫とICT活用」を通して主題にせまるべく研究を進めてきた。これまでに、話型の研究（話し合いの手順や方法、発表のルール確立）、課題提示の工夫（考えるときの視点や方向性のもとになる「問い」づくり）、昨年度は、特に、授業過程でのまとめと振り返りでの工夫に取り組む3年間の継続研究のまとめとした。

そして、本校は、昨年度から令和3年度までの3年間、山梨県道徳教育推進事業の指定を受け、「特別の教科 道徳」の研究の機会をいただいた。昨年度は特に、「考え、議論する」道徳の授業づくりを目指して、「発問の工夫」、及び「評価（通知表への記述）」の研究へ取り組んできた。2年目の今年度は、補助発問について深めること、話し合い活動での生徒の意見を有効活用すること、通知表の記述について視点をより明確にすることの研究を進めていきたい。中学校学習指導要領（平成29年告示）において「特別の教科 道徳」の目標は、「道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」と示されている。将来、問題場面や判断しなければならない場面に出会ったとき、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し実践できるよう取り組んでいきたい。

4. 研究の具体的取組内容と方法

(1) 授業形態の統一「山北スタイル」(思考力を高める授業形態)の実践(例)



(2) 特別の教科 道徳 (令和元年度～令和3年度までの3年間 山梨県道徳教育推進事業)

「考え議論する」道徳の授業づくり

- ① 発問の工夫：生徒が多面的・多角的に考える
- ② 通知表への記述：視点を明確にした評価文の作成
 - ・「考え議論する」道徳づくりでは補助発問の中の問い返しや切り返しについて研究を深める。
 - ・話し合い活動で、個人が出した意見を一つにまとめる方法と、すべて出た意見を発表する方法があるが埋もれてしまう意見を有効活用するための手段の研究を深める。
 - ・通知表への記述については視点をより明確にした評価文の作成に取り組む。

(3) 基礎学力定着の取組

- ① 自主学习ノートの作成
- ② 朝読書 → 読書活動の定着
- ③ 山北サポートタイム → 基礎基本の定着, 年間10回実施
 またこのほかに, 定期テスト前には放課後「自学の時間」として質問を受けての指導や, 自主学习をする時間を確保している。夏休みには, 「夏季学習会」として, 基礎学習や個別の課題を指導する時間を各学年・各教科で設けている。

- (4) 教材教具の開発・工夫
- (5) 教科に関わる掲示物の工夫
- (6) 授業改善を生かした研究実践

年間校内研修計画

研究主任 萩原 修

研究テーマ	教科領域等	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
理科 研究授業	社会科	三枝 綾香	1年	10月	○
道徳科 研究授業	道徳科	武井 松里子 未定	1年 2年	11月	○
英語科 研究授業	英語科	萩原 彩花	2年	12月	○

